

# 第2次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(29年度)

## 柱1 新鮮で安全安心な農畜産物の安定供給

### 1 生産性の向上

#### 施策1－営農指導の充実 主担当:農業生産振興課

数値目標	策定時 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(1) 営農指導巡回回数	291回/年	698回/年	450回/年	452回/年	420回/年	107.6%
主要事業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
<b>1 生産現場における課題解決の迅速化</b> <計画期間の取組内容> 現場での営農指導による課題解決の迅速化を図るため、専任アドバイザーを設置します。	<b>取組状況</b> ・生産者からの病虫害指導等の要請に対し、迅速に対応した。 ・生産現場にて、専任アドバイザーによる土壌の物理性診断を行った。 ①物理性診断 計35箇所 ・専任アドバイザーによる職員向けの講習会を開催した（広域連携として市原市職員も参加）。 ①肥料に関する講習会 計10回 ②市原市職員参加者数 3人			B	<b>取組内容</b> ・生産者からの指導要請に対し、迅速に対応する。 ・農業用機械の大型化に伴う土壌の物理性の問題を解決するため、専任アドバイザーによる土壌の物理性診断および改善指導を行う。 ・職員のレベルアップを図るため、専任アドバイザーや専門技術員等による実習や講習を行う。	
<b>2 計画的な農家への巡回指導</b> <計画期間の取組内容> 農家が抱える問題を解決し、生産性の向上を図るため、毎年営農指導計画書を作成し、計画的に営農指導を実施します。	<b>取組状況</b> ・各品目や地域、個々の生産者が抱えている問題をとらえ、これを解決するよう、随時、営農指導を実施した。				B	<b>取組内容</b> ・地域や品目、生産者ごとの問題を的確にとらえて営農指導を実施し、問題の解決を図る。

施策2—技術開発の推進 主担当:農業生産振興課

数 値 目 標	策定時 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率
(2) 新規種苗供給品目数	—	0品目	0品目	0品目	2品目	0.0%
主 要 事 業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
3 優良後継牛の確保支援  <計画期間の取組内容> 乳牛の生乳生産性を向上させるため、性判別精液や受精卵の活用による優良後継牛の確保支援を行います。	<b>取組状況</b> ・優良後継牛確保対策事業により性判別精液と受精卵の購入を支援した。 ①性判別精液の購入 8戸(164本) ②受精卵の購入 1戸(1個) ・優良後継牛確保対策事業の周知を図った。 ①周知 周年(文書及び巡回)			B	<b>取組内容</b> ・優良後継牛確保対策事業により性判別精液と受精卵の購入を支援する。 ・上記事業の周知を図る。 ①周知 通年(文書及び巡回)	
4 農業経営に有望となる種苗の供給  <計画期間の取組内容> 千葉市での農業経営に適した農作物の種苗を供給するため、大学と協力し、優良な種苗の開発を推進します。	<b>特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)</b> ・種苗供給に向けた栽培試験において、順化の成功率が低い等の問題が生じている。  <b>取組状況</b> ・新たに供給するニンニクの栽培試験の結果により選抜を進めるとともに、培養苗の順化方法を検討した。 ・洋ラン(ムラサキノウスヨウ)の苗供給を開始した。 ①供給数 360本 ・本市での栽培に適したイチゴ・ワケネギ等の種苗供給を行い、経営の安定や産地化を図った。 ①供給品目数 5品目10系統				C	<b>課題(Cの場合)</b> ・問題解決にむけて、大学・企業等との連携を図るとともに、専門技術者の指導により職員の技術力の向上が必要である。  <b>取組内容</b> ・専門技術者を配置し、新たに供給するニンニクの系統選抜を進め、生産現場での試験を行うとともに、薬用植物の試験研究を進める。 ・イチゴ・ワケネギ等の種苗供給を行い、経営の安定や産地化を図る。 ①供給品目数 5品目9系統

施策3—生産コストの低減 主担当:農業生産振興課

主 要 事 業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
5 生産近代化機械施設の整備促進  <計画期間の取組内容> 生産性の高い農業経営を確立し、エンジンなどの主要品目の産地を維持するため、認定農業者や生産組合等に対する機械施設整備を促進します。	<b>取組状況</b> ・従来の施策に加え、国の産地パワーアップ事業を活用し、栽培用ハウスの整備や各種省力化機械の導入を支援した。 ・産地パワーアップ事業 ①低コスト耐候性ハウス 3経営体 ②省力化機械 5経営体 ・農業生産団地育成事業 育苗用ハウス、省力化機械等 4経営体	B	<b>取組内容</b> ・生産性の高い農業経営体を育成するため、従来の市の施策に加え、国事業を活用し、ハウスや集出荷施設の整備、各種省力化機械の導入を促進する。

施策4—計画的な生産出荷体制の整備 主担当:農業生産振興課

数値目標	策定時 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(3) トマト施設栽培農家戸数	19戸 (23,678㎡)	19戸 (24,830㎡)	21戸 (29,870㎡)	22戸 (33,658㎡)	21戸 (25,678㎡)	104.8% (131.1%)
(4) イチゴ高設栽培農家戸数	15戸 (26,268㎡)	16戸 (26,928㎡)	18戸 (28,926㎡)	18戸 (28,926㎡)	17戸 (28,268㎡)	105.9% (102.3%)
主要事業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
<p>6 イチゴ・トマトを主軸とした生産支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 千葉市の都市農業を特色あるものにするため、イチゴとトマトを主軸とした生産技術支援を強化します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチゴ新品種「千葉S4号（チーバベリー）」の育苗方法等に関する栽培試験を行った。</li> <li>・大玉トマト及びミニトマトの袋培地栽培による品種比較試験を、みかど協和（株）と連携し実施し、本市に適した品種の選定を進めた。</li> </ul> <p>①大玉トマト比較品種数 6品種 ②ミニトマト比較品種数 6品種</p>			B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチゴ新品種「千葉S4号（チーバベリー）」の育苗方法等に関する栽培試験を引き続き実施する。</li> <li>・大玉トマト及びミニトマトの袋培地栽培による品種比較試験を、みかど協和（株）と連携し実施し、本市に適した品種の選定を進める。</li> </ul> <p>①大玉トマト比較品種数 6品種 ②ミニトマト比較品種数 6品種</p>	

施策5—価格安定化対策の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>7 千葉市野菜価格安定対策事業の実施</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 農業経営の安定と生産意欲の向上を図り、市内市場に新鮮な野菜を計画的に供給するため、野菜価格が低落した時、千葉市野菜価格安定対策協議会に対し、補償金を交付します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市野菜価格安定対策協議会が生産者に対して支払う補償金や、国・県の制度に参加する生産者の負担金に対して助成した。</li> </ul> <p>①千葉市野菜価格安定対策 16品目（イチゴ他） ②野菜生産出荷安定 6品目（春夏ニンジン他）</p>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会が生産者に対して支払う補償金や、国・県の制度に参加する生産者の負担金に対して助成する。</li> </ul> <p>①千葉市野菜価格安定対策 16品目（イチゴ他） ②野菜生産出荷安定 6品目（春夏ニンジン他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の収入保険制度との重複支給に関して、関係機関（JA、共済組合等）と協議・調整し、内容の整理を進めるとともに、生産者への周知徹底を図る。</li> </ul>

施策6－適切な肥培管理の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>8 土壌診断による施肥設計の作成支援</p> <p>(計画期間の取組内容) 過不足のない適正な施肥による生産性の向上を推進するため、農家の土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援した。</li> <li>①土壌診断 596検体</li> <li>②養液診断 445検体</li> <li>③堆肥 12検体</li> <li>合計 1,053検体</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援する。</li> <li>①土壌診断 600検体</li> <li>②養液診断 450検体</li> <li>③堆肥等 10検体</li> <li>合計 1,060検体</li> </ul>

2 地産地消の推進

施策7－市内産農畜産物の販売機会の創出 主担当:農政課

数値目標	策定時 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(5) 市内産農畜産物取扱店舗数 (地産地消推進店登録数)	63店舗	66店舗	80店舗	82店舗	83店舗	98.8%
(6) 地場産品レストラン認定数	—	0件	0件	0件	2件	0.0%
主要事業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
<p>9 多様な販売ルートの確立</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 多様な販売ルートを確立するため、販売店やレストラン等との交流会・産地見学会等を行うとともに、地産地消推進店登録制度等を創設します。</p>	<p>特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画どおり「千葉市地産地消推進店登録制度」を創設するとともに、計画を上回る件数を登録した。</li> </ul>			A	<p>課題(Cの場合)</p>	
	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内産農産物の飲食店への販路拡大を検証した。</li> <li>①平成28年度実施した流通実証実験により、近距離、小ロットの流通をビジネス化</li> <li>②飲食店の更なる活用を拡大するため、産地見学会実施</li> <li>地産地消推進店(つくたべ推進店)登録制度を創設し、PRを実施した。</li> <li>①飲食店 19、農産物直売所 7、食品卸事業者 1 計27件登録</li> <li>市内産農産物の量販店への販路拡大を図った。</li> <li>ラッカセイおおまさり生産者及び市内産農産物コーナーへの出荷者をマッチングした。</li> </ul>				<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マーケットイン志向生産者の支援を行う。</li> <li>市内産農産物の飲食店への販路拡大を図る。</li> <li>①飲食店販売志向農家の掘り起し(担い手育成班と連携)</li> <li>②産地見学会の開催</li> <li>③生産農家及び飲食店の流通を含めたマッチング</li> </ul>	

施策8—学校給食での市内産農畜産物の利用拡大 担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>10 学校給食等での利用拡大</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 市内産農産物の利用拡大を図るため、小中学校や保育所等の給食に食材を供給するとともに、料理講習会を開催します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内全小中学校の給食に、市内産農産物8品目を供給した。</li> <li>コメ、ニンジン、パレイショ、コマツナ、ホウレンソウ、スイカ、ブロッコリー、キャベツ 計267t</li> <li>教育委員会、JA千葉みらい、千葉青果(株)等の関係機関と、新たな品目の導入について検討した。</li> <li>出張授業用学習資料を、ホームページに公開した。</li> <li>5品目(ニンジン、コマツナ、キャベツ、スイカ、牛乳)</li> <li>市内産農産物を活用した料理講習会の実施2回(土気からし菜、いももち)</li> </ul>	<p>B</p>	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食での市内産農産物の利用拡大するため、市内全小中学校の給食に、市内産農産物8品目を安定供給する。</li> <li>小学校での市内産農産物の活用(共通メニュー以外)を促進する。</li> <li>①小学校栄養士対象の研修会の実施</li> </ul>

施策9—食と農の理解の促進 担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>11 出張授業・地産地消キャンペーンの実施</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 市内産農産物や農業に対する理解促進と、消費拡大を推進するため、小学校での生産者出張授業や地産地消キャンペーンを実施します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学3年生を対象に、6校で5品目の出張授業を実施した。</li> <li>①春夏ニンジン 6月</li> <li>②牛乳 9月</li> <li>③キャベツ 11月</li> <li>④コマツナ 12月</li> <li>⑤秋冬ニンジン 1月</li> <li>⑥牛乳 2月</li> <li>30年度からのコメの授業の実施に向け、生産農家、JAの協力により学習資料を作成した。</li> <li>地産地消キャンペーン             <ul style="list-style-type: none"> <li>①千葉市フェア他 計5回</li> </ul> </li> <li>千葉市つくたべプロジェクトPR             <ul style="list-style-type: none"> <li>①産地見学会・交流会 9月 ちーバルと連携 消費者37人参加</li> <li>②千葉市のやさいおいしい写真投稿キャンペーン 11~2月 計258投稿</li> </ul> </li> </ul>	<p>B</p>	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費者への農育を推進するため、市内小学校で生産者による出張授業を行う。</li> <li>①新たにコメの授業を追加 小学校5年生を対象 10月 新米コシヒカリの供給時期実施</li> <li>②6品目、7校実施</li> <li>「千葉市産農産物を購入・試食できる場所の見える化」を推進するため、キャンペーン等を実施する。</li> <li>地産地消キャンペーン             <ul style="list-style-type: none"> <li>①千葉市フェア他参加</li> </ul> </li> <li>千葉市つくたべプロジェクトPR             <ul style="list-style-type: none"> <li>①産地見学会開催 1回</li> <li>②千葉市のやさいおいしい写真投稿キャンペーン</li> </ul> </li> <li>包括提携協定に基づくフェア開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>①イオン 千葉市フェア</li> <li>②イトーヨーカドー 3市連携フェア</li> </ul> </li> <li>市内産農産物の見える化 市場流通の市内産農産物販売PR</li> </ul>

施策10—食の安全と消費者の信頼の確保 主担当:農政課

数 値 目 標	策 定 時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(7) 千葉市産農産物生産者認証者数	182人	184人	181人	177人	200人	88.5%
主 要 事 業	29年度の取組状況			評 価	30年度以降の取組内容	
12 千葉市産農産物生産者認証制度の充実  <計画期間の取組内容> 生産者と消費者の顔の見える農業を実現するため、直売志向の生産者への認証(新規及び再認証)を推進するとともに、認証者へのシンボルマークの貼付啓発と消費者へのPRにより認知度向上を図ります。	㊦特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)㊦ ・千葉市産農産物生産者認証制度が形骸化してきている。 ①認知度の低迷 ②地産地消シンボルマークの活用の低迷 ③農産物の安全に関する基準の時代変化			C	㊦課題(Cの場合)㊦ ・農産物の安全性を示す制度の高度化 ・販売事業者の安全制度要求に関する動向への対応	
	㊦取組状況 ・千葉市産農産物生産者認証制度を廃止した。 ①認証者へのアンケートの実施 ②地産地消推進連絡会議での意見聴取 →制度創設から10年を経過し、生産履歴の記帳、農業の適正利用等の啓発の役割を終了と判断 ・千葉市地産地消推進連絡会議を廃止した。 →地産地消推進指針を実効するための会議として創設。 指針の位置付けを農業基本計画及び食育推進計画へ変更、各計画の関係者会議で推進及び進捗管理しており、機能が重複すると判断				㊦取組内容 ・安全安心な農産物の生産の振興を図る。 →GAP、千葉エコ等の取得支援 ・「千葉市地産地消シンボルマーク」の運用方法の見直しを行う。 ・「千葉市産農産物の見える化」を推進するため、市場流通の市内産農産物販売のPRを行う。	



## 第2次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(29年度)

### 柱2 安定した農業経営体の育成

#### 3 優良農地の確保と有効利用

##### 施策11－優良農地の適正管理 主担当:農政課

主要事業	29年度の実施状況	評価	30年度以降の実施内容
<b>13 農業振興地域制度の周知</b> <計画期間の実施内容> 農業振興地域内の農用地区域の保全を図るため、パンフレット等で農業振興地域制度の周知を行います。	<b>取組状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問い合わせのあった事業者等に対して、作成したパンフレットなどにより制度の説明を行うとともに、窓口用の農用地区域の確認書を改訂した。</li> <li>・市政だより（7/15号）に制度の概要を掲載した。</li> <li>・関係部署（宅地課等）と連携し、事業者への周知を行った。</li> </ul>	B	<b>取組内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農用地区域での開発を計画する事業者等にパンフレット等により制度の説明を行う。</li> <li>・農用地区域の除外について、除外要件や手続きの流れをわかりやすく示したパンフレットを改訂する。</li> <li>・H29年度から農業振興地域整備計画の全体見直しを行っているため、除外受付等の一時停止を周知する。</li> </ul>

##### 施策12－生産基盤の整備 主担当:農政課、農業生産振興課

主要事業	29年度の実施状況	評価	30年度以降の実施内容
<b>14 農業用排水対策事業の推進</b> <計画期間の実施内容> 農業経営の安定化を図るため、北総中央用水の利活用を推進します。また農業生産性の向上のため、土地改良区等に対して井戸揚水機の電気料を補助します。	<b>取組状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北総中央用水の利活用の推進を実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①地元との懇談会 10回</li> <li>②先進地視察 1回</li> <li>③基本計画策定業務委託 4,212千円</li> </ul> </li> <li>・井戸ポンプの電気料を一部助成した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①対象団体数 33団体</li> <li>②補助金額 6,999千円</li> </ul> </li> </ul>	B	<b>取組内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北総中央用水の利活用の推進を実施する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①地元との懇談会等 8回</li> <li>②事業採択申請書作成委託 8,000千円</li> </ul> </li> <li>・井戸ポンプの電気料を一部助成する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①対象団体数 33団体</li> <li>②補助金額 7,000千円</li> </ul> </li> </ul>
<b>15 農道舗装整備の推進</b> <計画期間の実施内容> 農業生産性の向上と農村生活環境の改善を図るため、緑農住区開発関連土地基盤整備事業による道路の舗装整備を行うとともに、農業用道路の舗装整備を行います。	<b>特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)</b> <b>取組状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農道の舗装整備を実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①整備箇所 1箇所（緑区板倉町）</li> <li>②整備延長 150m</li> </ul> </li> <li>・緑農住区道路の舗装整備を実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①整備延長 155m</li> <li>②その他の整備 ボックスカルバート敷設 1箇所</li> </ul> </li> </ul>	B	<b>課題(Cの場合)</b> <b>取組内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農道の舗装整備を実施する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①整備箇所 1箇所（若葉区川井町）</li> <li>②整備延長 300m</li> </ul> </li> <li>・緑農住区道路の舗装整備を実施する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①整備延長 120m</li> </ul> </li> </ul>

施策13－農地の集積と活用の促進 担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
16 利用権設定者に対する支援  <計画期間の取組内容> 農地の利用集積を促進するため、利用権が設定された農地の貸付者、借受者に対して補助金を交付します。	<b>取組状況</b> ・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の賃借について、期間や面積に応じて助成した。 ①件数 34件 ②対象面積 25.7ha ・また、農地中間管理事業により、土地改良区を中心に農地の利用集積が図られた。 ①地区 犢橋土地改良区 ・農地の貸し借り方法のパンフレット及びフローチャートを事業周知のため活用した。	B	<b>取組内容</b> ・4つの農地の貸し借り方法のパンフレット及び農地の貸し借りのYes-Noフローチャートにより事業を周知し、農業経営基盤強化促進法に基づく農地の賃借について助成する。

施策14－耕作放棄地の解消と利活用の推進 担当:農政課、農業生産振興課

数値目標	現状 (28年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(8) 営農再開面積	6.0ha	7.4ha	7.9ha	8.4ha	8.8ha	95.5%
主要事業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
17 耕作放棄地の未然防止と利用促進  <計画期間の取組内容> 耕作放棄地の未然防止及び解消を促進するため、大型草刈機の貸し出しを実施することにより農地の保全や適性利用を進めるとともに、遊休農地情報を公表し、利用希望者とのマッチングを行います。	<b>取組状況</b> ・耕作希望者に耕作放棄地の情報を提供し、「耕作放棄地整備事業」を活用して再生利用を促進した。 ①解消件数 1件 ②解消面積 0.50ha ・遊休農地を含む農地情報を農業委員会、JAと共有した。 ・大型草刈機を貸出した。 ①利用戸数 25戸 ②利用面積 1,836a			B	<b>取組内容</b> ・関係機関で組織する「地域農業振興部会」により、マッチングにつながる情報を収集する。 ・市の補助事業等を活用し再生利用を促進する。 ①解消面積 0.7ha	

4 意欲ある担い手の確保・育成

施策15－認定農業者の育成 担当:農業経営支援課、農業生産振興課

数値目標	策定時 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(9) 新規認定農業者数	6経営体/年	3経営体/年	7経営体/年	5経営体/年	10経営体/年	50.0%
主要事業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
18 農業経営改善計画の作成・達成支援  <計画期間の取組内容> 農業経営を改善するため、農業経営改善計画の作成を支援するとともに、計画達成に向け生産技術・経営管理の指導を行います。また、新規就農者や新規参入法人向け相談会の開催や広報誌を活用した制度の周知を行います。	<b>特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)</b> ・認定志向農業者の掘り起しに努めたが、対象者が少ない。  <b>取組状況</b> ・千葉市農業経営改善支援センター会議の構成員と連携し、認定志向農業者と既認定者の農業経営改善計画書の作成を支援した。 ①計画書作成支援 33経営体 ・訪問指導等により「新たな農業経営指標」に基づく自己チェックの普及に努めた。			C	<b>課題(Cの場合)</b> ・認定水準到達が見込まれる認定志向農業者の効果的な掘り起しが必要である。  <b>取組内容</b> ・千葉市農業経営改善支援センター会議の構成員との連携を強化し、認定志向農業者の掘り起しに努め、認定農業者へ誘導していく。 ①計画書作成支援 29経営体	



施策16—新たな担い手の確保・育成 主担当：農業経営支援課、農地活用推進課

数 値 目 標	策 定 時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(10) 新規就農者数	7人/年	2人/年	12人/年	13人/年	10人/年	130.0%
(11) 後継者向け研修の受講者数	65人	89人	99人	109人	117人	93.2%
(12) 「人・農地プラン」策定地区数	3地区	3地区	5地区	6地区	13地区	46.2%
(中心経営体数)	(16経営体)	(22経営体)	(29経営体)	(38経営体)	(27経営体)	140.7%
(13) 農業版ハローワーク雇用・ボランティア成立件数	358件	384件	391件	398件	398件	100.0%
主 要 事 業	29年度の取組状況			評 価	30年度以降の取組内容	
19 「人・農地プラン」による地域農業の活性化  ＜計画期間の取組内容＞ 担い手不足や耕作放棄地の増加など、地域における人と農地の問題を解決するため、「人・農地プラン」の細分化とともに、農地中間管理事業等を活用し、地域農業の活性化を推進します。	<b>取組状況</b> ・「人・農地プラン」(花見川区・稲毛区)に新たに細分化地区を設定した。 【細分化地区】1地区(檜橋地区) ・全3地域の「人・農地プラン」について内容見直しを行った。 【地域話し合い回数】3回 【細分化地区設定に向けた集落等での話し合い回数】11回 【中心経営体(新規)】10経営体 ※離農の意思を示している1経営体をプランから除外。			B	<b>取組内容</b> ・地域特性を活かした土地利用計画により、細分化地区の設定を積極的に進め、地域の安定した経営に資するプランづくりを目指す。 ・新たな地域の中心となる経営体の追加を推進する。	
20 新規就農者等の確保・育成  ＜計画期間の取組内容＞ 農業の担い手を確保・育成するため、新規就農希望者や定年帰農者、農家で働きたい人に対し、研修や営農指導等を行うとともに、農業後継者に対し支援します。	<b>取組状況</b> ・新規就農希望者を広域的に確保するため、近隣の農業系大学への訪問PR(2校)や募集案内配布によるPR(18校)を行った。 ①研修受講者数 9人 (1年目4人、2年目4人、3年目1人) ②巡回指導 12回 ・新規就農者の早期の経営確立を図るため、農業次世代人材投資資金を交付した。 ①交付人数 26人 ②交付総額 2,963万円				B	<b>取組内容</b> ・近隣の農業系大学などに訪問PR等を行うほか、都内の就農イベントに出展し、広域的な新規就農者の確保・育成を図る。 ①研修受講者数 13人 (1年目5人、2年目4人、3年目4人) ②巡回指導 12回 ・新規就農者の早期の経営確立を図るため、農業次世代人材投資資金を交付する。 ①交付人数 25人 ②交付総額 3,300万円

施策17-「家族経営協定」の推進 主担当:農業経営支援課

数 値 目 標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(14) 家族経営協定締結件数	20件	23件	25件	30件	28件	107.1%
主 要 事 業	29年度の取組状況			評 価	30年度以降の取組内容	
21 家族経営協定の普及  <計画期間の取組内容> 女性農業者や後継者の経営参画のため、家族経営協定を普及します。	㊦ 特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合) ㊦ 認定農業者の巡回訪問等の際に、協定締結のメリットを周知したことで、締結数が目標を上回った。			A	㊦ 課題(Cの場合) ㊦	
	㊦ 取組状況 ・女性農業者や農業後継者の経営参画、円滑な経営承継等を促進するため、関係機関と連携し、家族経営協定の締結に結びつけた。 ①新規締結件数 5件				㊦ 取組内容 ・女性農業者や農業後継者の経営参画、円滑な経営承継等を促進するため、関係機関と連携し、家族経営協定の締結を推進する。 ①新規締結件数 2件	

施策18-農業経営体の法人化への推進 主担当:農業経営支援課

主 要 事 業	29年度の取組状況	評 価	30年度以降の取組内容
22 認定農業者等の法人化への誘導  <計画期間の取組内容> 認定農業者等の法人化を推進するため、関係機関と連携し講習会を開催するなど法人化を促進します。	㊦ 取組状況 ・認定農業者や農業後継者を対象に、農業部門に関わる企業の担当者を講師に招き、講習会を開催した。 ①講習会開催数 1回(12月開催)	B	㊦ 取組内容 ・農業委員会や県農業会議と連携し、認定農業者等の法人化を支援する。 ①講習会開催数 1回

## 5 農家所得の向上

### 施策19-6次産業化の推進 主担当:農政課

数値目標	策定時 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(15) 6次産業化の認定件数	2件	3件	3件	3件	4件	75.0%
主要事業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
23 6次産業化の支援  <計画期間の取組内容> 6次産業化を目指す生産者の計画策定及び計画達成のため、認定志向農業者への巡回指導や、関係機関との連携により情報提供等の支援を行います。	<b>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</b> ・市街化調整区域内での開発行為を行うにあたり課題がある。 ①排水先がない ②接道の幅員が不足するケースが多い ・農家レストラン開設者要件を満たせず、農家自らが開設することが困難である。			C	<b>課題(Cの場合)</b> ・悪質な開発を防ぎ、実際の開設を促す開設者要件の検討を行う。 ・個別の課題に合わせた開設支援が必要である。 ・ハード面の条件を満たさない場合は実施不可である。	
	<b>取組状況</b> ・農家レストランの開設支援を行った。 ①6次産業化認定者の計画支援 →サポーターの派遣を受けたが具体的な計画策定に至らなかった。 ②開設相談 相談案件について現地等を確認 →相談数 5件 ・農家レストラン開設セミナーを開催した。 柏市で農家レストランを開設する農家を講師に、実際の開設や運営について講演 ・6次産業化の支援を行った。 農家が委託加工した商品の販売先へのマッチング 2件				<b>取組内容</b> ・農家レストランの開設支援及びPRを行う。 ①農業者の農家レストランの開設計画を支援 ②開設者要件の緩和 ③地産地消推進店への登録 ④グリーンツーリズムに位置付けPR	

### 施策20-販路拡大の支援 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
24 トップセールス等の活用  <計画期間の取組内容> 市内はもとより、市外・県外への情報発信により販路拡大を推進するため、トップセールスを活用します。	<b>取組状況</b> ・市長によるトップセールスを行った。 4月 千葉市フェア タマゴ他市内の畜産物のPR ・3市連携による市内産品PRを行った。 ①そごうでのフェア 2月 3市の食材を活用した恵方巻きつくり ロールケーキ製造販売 ②ハッピースイーツ卒業制作 2月 3市の食材を活用したケーキの発表	B	<b>取組内容</b> ・千葉市産農産物の見える化を推進するため、包括提携協定に基づく企業とのフェアを開催する。 ①イオン千葉市フェア ②イトーヨーカドー3市連携フェア ・農政部と経済部の連携により市内産品の魅力を向上させ、販路拡大につながるブランド化を進める。

施策21－千葉市ブランドの確立 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>25 加工品開発及びブランド化の支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 伝統野菜等の発掘を行い、ブランド化を図るため、加工・販売等について支援します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統野菜土気からし菜のブランド化を図った。</li> <li>①安定生産及び品質向上支援 8月 土壌分析 10月 は種講習会 2月 出荷会議</li> <li>②生産者の獲得 組合に2人加入</li> <li>③系統維持 農政センターにおいて種栽培</li> <li>④販路拡大 産地見学会、業務需要にマッチング</li> <li>・伝統野菜及び伝統料理の普及を図った。</li> <li>①いももち教室 11月 1回</li> <li>②土気からし菜漬物教室 2月 1回</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統野菜の継承を推進し、伝統野菜土気からし菜のブランド化を図る。</li> <li>①安定生産及び品質向上支援 8月 土壌分析 10月 は種講習会 2月 出荷会議</li> <li>②系統維持 農政センターにおいて種栽培</li> <li>③販路拡大 市内外事業者とのマッチング</li> <li>④消費PR 各種イベントへの参加</li> <li>・伝統野菜及び伝統料理の普及を図る。 料理教室の開催（土気からし菜、いももち）</li> <li>・ラッカセイのPRを行う。</li> <li>①量販店への生ラッカセイ出荷拡大</li> <li>②飲食店での活用拡大</li> <li>③収穫体験の実施</li> </ul>

6 環境にやさしい農業の推進

施策22－健全な土づくりの推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>26 環境保全型農業の取組への支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 農業分野の地球温暖化防止や生物多様性保全のため、事業に取組む農家に対し、交付金により支援します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用廃プラスチックの円滑な回収および適正な処理を行った。</li> <li>①廃プラ処理量 26.03t</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用廃プラスチックの円滑な回収および適正な処理を行う。</li> <li>①廃プラ処理量 28t</li> </ul>
<p>27 土壌診断の充実</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 土壌診断を充実させ、健全な土づくりを推進するため、診断の迅速化と精度向上を図ります。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な土壌診断を実施するため、振とう機の更新を行った。</li> <li>・診断結果に問題があった場合や、生産者からの要望に応じて、専任アドバイザーによる個別面談を行った。</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌診断の精度を保つため、適時に必要な機器の更新を行う。</li> <li>・土壌診断の充実を図るため、診断結果の内容や生産者からの要望に応じて、専任アドバイザーによる個別面談を行う。</li> </ul>

施策23—家畜排せつ物の適切な管理 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>28 家畜排せつ物処理状況の巡回指導</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 家畜排せつ物の適正処理を推進するため、畜産農家に対し、排せつ物処理状況の巡回指導を実施します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜排せつ物処理状況の巡回指導を実施した。</li> <li>①巡回 通年</li> <li>②適正処理指導 10件</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜排せつ物処理状況の巡回指導を実施する。</li> <li>①巡回 通年</li> </ul>

施策24—堆肥の有効利用 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>29 耕畜連携による堆肥利用の促進</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 堆肥の有効利用を推進するため、耕種農家に対し、家畜堆肥の情報を提供し利用を促進します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜ふん堆肥の利用状況を確認し、堆肥利用希望農家に対し情報提供を行った。</li> <li>①情報提供 通年</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜ふん堆肥の利用状況を確認し、巡回指導を通じて耕種農家に情報提供する。</li> <li>①情報提供 通年</li> </ul>

施策25—減農薬の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>30 大学との天敵の共同研究</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 減農薬を推進するため、市内の土着天敵を調査し、有効活用について大学と共同研究を実施します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉大学との共同研究の成果に基づき、農政センターの周辺において、土着天敵の生息調査を行った。</li> <li>4月～10月 計4回</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産現場における天敵や微生物資材の活用を進め、減農薬を推進するとともに生産者の労力軽減を図る。</li> </ul>

## 第2次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(29年度)

### 柱3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

#### 7 都市と農村の交流促進

#### 施策26—いずみグリーンビレッジ事業の推進 主担当:農業経営支援課

数値目標	策定時 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(16) 都市農業交流センター来訪者数	171,048人/年	190,876人/年	192,134人/年	210,953人/年	190,000人/年	111.0%
主要事業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
31 いずみグリーンビレッジ構想の拠点地域の活性化  <計画期間の取組内容> いずみ地区の更なる活性化を図るため、3拠点が連携したPR活動を行うとともに、地域資源を活用した新たな活性化策に取り組みます。	<b>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</b> ・イベントや体験教室の開催に加え、ロゴマークを活用し積極的にPRに努めたことで、来訪者数が目標を上回った。 ①市政だよりでの掲載記事数 15件 ②区役所でのパネル展開催 6区 ③ポスターの掲示依頼 350箇所以上 (民間含む保育所、公民館、図書館他)			A	<b>課題(Cの場合)</b>	
	<b>取組状況</b> ・いずみ地区の3拠点施設の連絡会議を開催した。 ①連絡会議開催数 2回(10月、2月) ・野呂地区において泉自然公園を利用した農作物の直売会や農政センターでの市民農園利用者養成講座を実施した。 ①直売会開催数 1回(11月) ②市民農園利用者養成講座 18回				<b>取組内容</b> ・いずみ地区の3拠点施設連絡会議を開催する。 ①連絡会議開催回数 2回 ・大学生の自由な発想で、地域のPRや魅力発信イベントを実施する。 ・野呂地区での催しや講座を実施する。 ①直売会開催回数 1回 ②市民農園利用者養成講座 16回	

#### 施策27—農とふれあう機会の充実(市民農園・体験農園・観光農園) 主担当:農政課、農業経営支援課

数値目標	策定時 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(17) 市民農園・農業体験農園数	35箇所	40箇所	40箇所	39箇所	44箇所	88.6%
(18) 観光農園バリアフリートイレ設置数	7箇所	9箇所	9箇所	9箇所	11箇所	81.8%
主要事業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
32 市民農園等の整備及び利用の促進  <計画期間の取組内容> 市民が気軽に農業に親しめる場を提供するため、市民農園・農業体験農園・観光農園の整備を促進するとともに、市ホームページ、市政だよりによるPRに加え、市民農園養成講座の開設及び動画配信により、市民農園等の利用を促進します。	<b>取組状況</b> ・農園開設を希望する地権者からの相談に応じ、新規開設に向け支援した。 ・観光農園や直売所の利用を増やすため、写真撮影用の看板を配布し、SNSへの発信を利用者に促した。			B	<b>取組内容</b> ・市民農園が少ない地域での新たな農園開設を支援する。 ・市民農園利用者養成講座を開催し、市民農園利用者の確保を促進する。 ・観光農園利用者自らSNSで情報発信してもらえるような取組を実施する。	



施策28－教育現場での農業の活用 主担当:農業経営支援課

数 値 目 標	策 定 時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(19) ワークショップの開催数	8回/年	9回/年	2回/年	3回/年	10回/年	30.0%
主 要 事 業	29年度の取組状況			評 価	30年度以降の取組内容	
<p>33 小中学生が農業と親しむ機会の創出</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; いずみ地区の自然環境・歴史・伝承文化等の地域資源を伝えるため、次代を担う地域の小中学生を対象に、ワークショップを行います。また、いずみ地区の魅力を広く知ってもらうため自然観察会、歴史探索会などを実施します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いずみ地区内の自然・歴史・文化・景観等の地域資源を活かし、地域の中学生（総合学習）を対象にワークショップを開催した。</li> <li>①更科中学校 歴史調査 3回</li> </ul>			B	<p>取組内容</p> <p>学校でワークショップを独自に開催する体制が整ったことから、事業終了。</p>	

施策29－情報の提供 主担当:農政課

主 要 事 業	29年度の取組状況	評 価	30年度以降の取組内容
<p>34 市民への情報発信</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 「農とふれあう場」を提供するため、農に親しみたい人へ、積極的に旬の情報や各種イベント情報等を提供します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容及びターゲットに合わせた情報発信を実施した。</li> <li>①市民農園 市政だより</li> <li>②観光農園 市政だより、広報広聴課 SNS</li> <li>③収穫体験 市政だより、千葉あそび</li> <li>④地産地消推進店（つくたべ推進店） 市政だより、つくたべフェイスブック・インスタグラム</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携し、より広く情報を発信する。</li> <li>①各広報誌への掲載 観光農園→グリーンツーリズム広報誌等 地産地消推進店（つくたべ推進店） →市観光協会パンフレット等</li> <li>②PRイベントへの参加 ZOZOマリンスタジアムでのイベント等</li> <li>農業体験サポーターの活用を推進する。</li> <li>①食育ボランティアの協力による制度設計</li> <li>②登録制度の創設</li> <li>③サポーターによる情報発信</li> </ul>

## 8 農村環境の整備と保全

### 施策30－快適な農村環境の整備 主担当:農政課

主要事業	29年度の実施状況	評価	30年度以降の実施内容
<p>35 農村の水環境の保全</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 農業生産の向上、公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水事業を継続します。</p>	<p>④実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設（親水施設）の維持管理を行った。</li> <li>①杉山地区 1.2ha</li> <li>②大池地区 2.2ha</li> </ul>	B	<p>④実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設（親水施設）の維持管理を行う。</li> <li>①杉山地区 1.2ha</li> <li>②大池地区 2.2ha</li> </ul>

### 施策31－美しい農村景観づくり 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の実施状況	評価	30年度以降の実施内容
<p>36 景観形成作物の取組に対する支援</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 都市住民に憩いと安らぎの場を提供するため、ハナナ・コスモス等の景観形成作物に取組む農家に対し、種子を配布します。</p>	<p>④実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒマワリ、コスモス、ハナナ等の景観形成作物の種子を取組農家へ配布した。</li> <li>①取組面積 806a</li> <li>②取組農家・組合数 18戸</li> </ul>	B	<p>④実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒマワリ、ハナナ、コスモス等の景観形成作物の種子を取組農家に配布する。</li> <li>①取組面積 1,000a</li> </ul>

### 施策32－集落機能の維持 主担当:農政課

主要事業	29年度の実施状況	評価	30年度以降の実施内容
<p>37 集落保全活動の維持・支援</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の活動に参加する組織に対して支援を行うとともに、新たな活動組織の掘り起しを行います。</p>	<p>④実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7地区に対し、活動の継続を支援した。(H29に1地区追加)</li> <li>①説明会・意見交換会 2回(7月、1月)</li> <li>②安全研修会 1回(2月)</li> <li>③活動の手引き送付 2回(10月、1月)</li> <li>④現地確認 2回(10~11月、2月)</li> <li>⑤個別相談 随時</li> <li>⑥新規地区支援 9月</li> </ul>	B	<p>④実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7地区に対し、活動を支援する。</li> <li>・活動に向け、新規活動組織の掘り起しと説明を行う。</li> <li>①活動組織及び新規活動組織説明会</li> <li>②個別相談</li> <li>③現地確認</li> </ul>

施策33－有害鳥獣対策の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の実績状況	評価	30年度以降の実績内容
<p>38 有害鳥獣対策の支援</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 安定した農産物生産を実現するため、ハクビシン・イノシシ・カラス等の有害鳥獣対策を支援します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉市鳥獣被害防止対策協議会が取り組む捕獲や侵入防止に係る経費を助成した。</li> <li>①ハクビシン捕獲活動（市内全域） 捕獲12頭 箱わな設置 30基</li> <li>②イノシシ捕獲活動（緑・若葉区） 捕獲10頭 箱わな設置 15基 電気柵設置 1,815m</li> <li>③カラス追い払い（市内全域） 猛禽による追い払い 2回</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハクビシン、イノシシ及びカラスの捕獲や侵入防止、生息環境管理などの被害防止対策の活動に対して助成する。</li> <li>専門的なノウハウを有する「農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー」を活用し、地域の実情にあわせた被害防止体制を構築する。</li> </ul>

9 健全な森林づくりの推進

施策34－優良な森林の整備推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の実績状況	評価	30年度以降の実績内容
<p>39 市森林整備計画の実行・推進</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 適切な森林整備を推進するため、市森林整備計画に基づく各種事業を実施します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営計画を認定した。</li> <li>①森林経営計画認定数 1件 （複数の市町村にわたるため県が認定）</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <p>主要事業40 森林の適正管理及び木材利用の推進に統合。</p>

施策35－価値ある森林づくりの推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の実績状況	評価	30年度以降の実績内容
<p>40 森林の適正管理及び木材利用の推進</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 森林環境を保全するため、間伐や枝打ち、下草刈等を促進するとともに、ボランティア団体の活動を支援します。また、循環型社会の形成、林業・木材産業の振興、森林再生を促進するため、県内産の木材利用を推進します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備事業に対して助成した。</li> <li>①造林 0.22ha</li> <li>②下刈 14.46ha</li> <li>③枝打 5.02ha</li> <li>④間伐 1.87ha</li> <li>⑤間伐材搬出 12.75m<sup>3</sup></li> <li>新庁舎への木材利用促進について、関係部に依頼した。</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉市森林整備計画に基づき、造林、下刈、枝打、間伐、間伐材搬出等の森林整備事業や、サンプスギ溝腐病の被害を受けた森林の、被害木の伐倒搬出等に助成する。</li> <li>木材利用促進に向けたPRを行う。</li> </ul>

施策36—森林病虫害対策の推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>41 被害森林再生・資源循環促進事業への支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 病虫害や気象災害による被害林の再生及び資源循環促進のため、各種事業に取り組む森林組合等に対し支援します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害を受けた森林の被害木の伐倒等に助成した。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①伐倒搬出 0.22ha</li> <li>②植栽 0.09ha</li> </ul> </li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <p>主要事業40 森林の適正管理及び木材利用の推進に統合。</p>

10 森林にかかわる人づくりの推進

施策37—森林への関心の向上 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
<p>42 林業体験教室の実施</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 森林の持つ機能や役割について理解を広めるため、間伐材等を利用した工作物の制作や管理技術の講習会などを開催します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県森林組合及び千葉県北部林業事務所印旛支所の協力により、森林管理についての講習や、チェーンソーを用いた間伐体験、ヒラタケの栽培講習を実施した。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①参加者数 15人</li> </ul> </li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県森林組合及び千葉県北部林業事務所印旛支所の協力により、林業体験教室を実施する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①募集定員 20人</li> </ul> </li> </ul>

施策38—森林ボランティアの育成と活動の支援 主担当:農業経営支援課

数値目標	策定時 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(20) 森林ボランティア数	172人	187人	202人	251人	187人	134.2%
主要事業	29年度の取組状況			評価	30年度以降の取組内容	
<p>43 森林ボランティア活動の支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 森林で活動を行うボランティア団体を支援するため、技術研修や団体相互の交流機会を設けるとともに、活動状況の情報発信等を行います。</p>	<p>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</p> <p>主に、普及啓発活動を行う森林ボランティア団体の会員数の増加による。</p>			A	<p>課題(Cの場合)</p>	
	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修会を開催した。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①技術研修会(2回)のべ22人</li> <li>②安全研修会(1回)20人</li> </ul> </li> <li>森林ボランティア団体に対して千葉市里山の保安全管理団体報奨金を交付した。(20円/m<sup>2</sup> 限度額200千円/団体)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①交付団体数 2団体</li> </ul> </li> </ul>				<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備活動を行う森林ボランティア団体に対し、研修会、講習等で活動を支援する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①技術研修会</li> <li>②安全研修会</li> </ul> </li> <li>森林ボランティア団体に対して千葉市里山の保安全管理団体報奨金を交付する。</li> </ul>	

施策39—森林所有者の組織の育成と強化 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
44 森林組合の育成強化  <計画期間の取組内容> 森林整備の中心的担い手である森林組合の健全な運営のため、森林組合及び林業の担い手の活動を支援します。	<b>取組状況</b> ・森林組合が実施する森林整備事業(造林等)に対して助成した。 ・森林組合の組織強化対策に対して助成した。 ①作業班育成強化事業(作業班の設置に必要な会議開催等への助成) 51千円 ②広報宣伝事業(林業等に係る情報収集及び啓発活動への助成) 30千円 ③執行体制強化事業(林業技術員の設置に係る助成) 1,320千円	B	<b>取組内容</b> ・森林組合が実施する森林整備事業(造林等)に対して助成する。 ・森林組合の組織強化対策に対して助成する。 ①作業班育成強化事業 ②広報宣伝事業 ③執行体制強化事業

11 森林の多面的機能の活用

施策40—里山地区の保全 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
45 里山づくりの推進  <計画期間の取組内容> 里山の有する多面的機能の維持増進及び景観を保全するため、企業や多様な人々の参画による保全活動を支援します。	<b>取組状況</b> ・里山地区4箇所について森林ボランティア団体などの協力により、保全活動を行った(定例作業は月4日～5日)。	B	<b>取組内容</b> ・現在ある里山地区について、ボランティア団体と共に維持管理に努める。 ・里山への理解を深め、多くの市民が保全活動に参画できるよう、保全活動を行う団体を育成するほか、ボランティア団体が主催する市民向けイベントなどを支援する。

施策41—森林と農業の連携 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
46 農業と連携した森林機能の活用  <計画期間の取組内容> 森林機能の活用を図るため、里山地区周辺の観光農園などと連携し、農業とのコラボイベントに取り組みます。	<b>取組状況</b> ・富田さとにわ耕園において、「森林ボランティア技術研修会」を開催した。 ①開催回数 1回	B	<b>取組内容</b> 主要事業45 里山づくりの推進に統合。

施策42—教育の森と市有林の活用 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
47 市有林等活用事業の充実  <計画期間の取組内容> 森林の多面的機能を活用するため、県で認定する教育の森並びに市有林を活用し、ボランティア団体による森林整備や、交流の場の創出を促進します。	<b>取組状況</b> ・「おぐらの森」におけるボランティア団体の主催による秋の里山観察会・体験会の開催を支援した。 ①観察・体験会開催数 2回 ②参加人数 のべ85人 ・「とみだの森」で行われたイベント「里山保全活動体験」を支援した。	B	<b>取組内容</b> 主要事業45 里山づくりの推進に統合。